

勤務医との
違いは？

メリット・
デメリットは？

目指すなら
何をどう頑張る？

開業医という生き方

「親が開業医ではないから」という理由で「開業」を最初からあきらめている人はいないだろうか。ここでは自身で開業した実力派3医師に直撃。開業医として働く醍醐味と必要なことを聞いた。 文/鳥集徹 写真/工藤了

9:00前 手術準備



クリニック内は、本格的な手術設備が整えられている。出勤するとすぐに術衣に着替え、入念に手洗いをを行う。こうした術前の光景は、大病院と変わらない。

9:30頃 手術開始



平日はほぼ毎日、午前9時30分から午前11時からの2回手術を行っている。手術は約1時間で終了。9時スタートの場合、患者さんはお昼前に麻酔から目覚め、午後3時頃帰宅することができる。

どんな風に働くの？

宮崎医師の一日

8:30頃 出勤

Cottonのシャツにジーンズ、スニーカーというラフなファッションで出勤。これから術衣に着替えて手術する医師とは、思われないかも!? クリニックはJR札幌駅の駅ビル内。



「鼠径ヘルニアの日帰り手術」で全国的に知られる実力派外科医



みやざき外科
ヘルニアクリニック
外科
みやざきよすけ
宮崎恭介 医師
1966年生まれ

1991年聖マリアンナ医科大学卒業後、北海道大学医学部第二外科入局。手稲溪仁会病院などでの勤務を経て、03年に札幌で開業した。

メリット

その道のスペシャリストになれる

鼠径ヘルニアや下肢静脈瘤などの小手術に特化したことで、勤務医時代に比べて手術執刀件数は飛躍的に上がった。経験値に合わせてその道のスペシャリストとして認められたことも大きい。忙しさと報酬がほぼ比例し、やり甲斐も

ある。

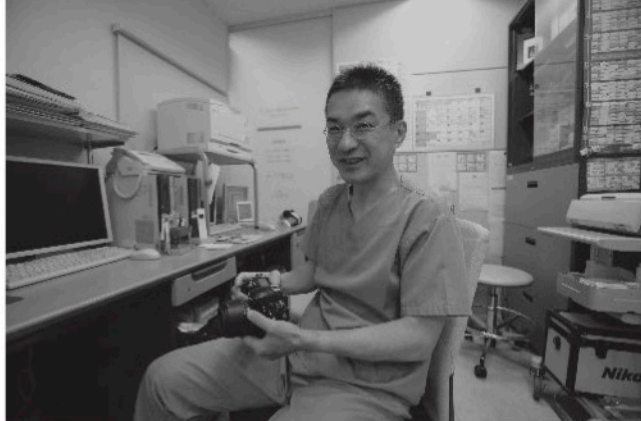
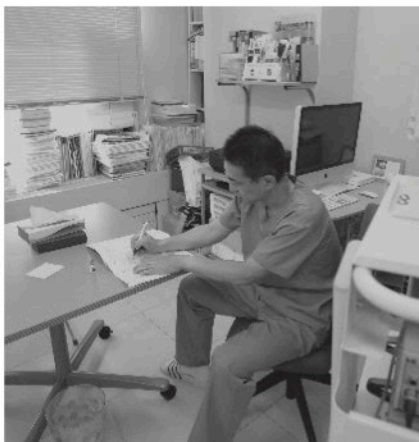
デメリット

なかなか休めず、孤独も感じる

勤務医時代に行っていたような大きな手術はできない。なかなか休暇が取れず、休むとその日の収入はゼロに。学会にも参加しづらいので、各種専門医や資格の更新・維持が難しい。困ったときは、一人で決断しなければならない。

18:00 診察終了

様々な書類を書くのも院長の仕事。18時には診療を終えて、プライベートタイムを楽しむ。出血などがあったときのために、術後の患者さんには携帯電話の番号を教えているが、これまで電話かかってきたことはほぼない。



13:30頃 診察

多くのクリニックでは午前中に診察するのが通常だが、同クリニックは午前中に手術をしているので、初診患者には午後からの受診を勧めている。

患者さんからの電話を受けて、スケジュールを確認。北海道や東北からも患者が訪れるため、カレンダーボードの手術予約は二週間ほど先まで埋まっている。



19:00 野球観戦

仕事で付き合いのある仲間たちとファイターズの応援。シーズン中はほぼ毎日スタジアムに足を運ぶ。ビールを飲みながら大声で声援を送り、ストレスをおもいきり発散！ 明日の仕事の活力としている。



北海道日本ハムファイターズの熱烈なファン。シーズン中は札幌ドームで行われるほとんどの試合に足を運ぶ。クリニック内にもファイターズのポスターや、サインボールが飾られている。



若干36歳で開業
ロコミで経営が軌道に

「米国で、世界的に有名な日帰り手術クリニックを見学したことが、開業を目指したきっかけです。小さな施設で、二人の医師が年間400例の手術をしていたんです。私も日本で、こんなクリニックを実現したいと思いました」

開業したのは外科医になって11年目の36歳のとき。年齢的に「早すぎる、無謀だ」という声もあったが、勤務医だった宮崎医師は、限られた人数と設備で手術できる方法を考え、4年かけて周到に開業準備を進めた。

「開業して最初の3年間は自転車操業でした。しかし、「手術を受けてよかった」という口コミで患者さんが増えたんです。手術数はトータルで、5000例超。患者さんに喜ばれる仕事を地道に続けてきたことで、経営も自然と軌道に乗りました」

二行アンダー
二行アンダー

開業医の今からわかる

目指すために必要なこと

もはや「でもしか」の時代ではない開業医

臨床医のうち、将来開業医になる人は、約三〜四割といわれている。医学部をめざすきみも、将来は開業医になっているかもしれない。

かつては、病院勤めが嫌になったとしても、開業してしまえばなんとかなる時代があった。しかし今は、世間の医師を見る目が厳しくなり、どこで開業しても患者が押し寄せる状況ではなくなった。

実際、経営に苦しむ開業医は少なくない。また、数は多くないものの、倒産する医療機関があるのも事実。「でもしか(開業医でもやるか)開業医しかないか」でうまくいく時代ではないのだ。

開業医として地域医療に貢

献し、経営的にも成功するには、何が大切なのだろうか。医師五人が勤務する乳がん専門クリニックの院長・芝英一医師と、痔や便秘の専門医として著名な山口トキコ医師と話を聞いた。

大病院ではできない理想の医療を求めて

開業理由をたずねると、多くの医師が挙げるのが「理想の医療の実現」だ。芝医師もその一人。

「勤務医時代、患者さんを様々な専門職種で支える『チーム医療』を試みましたが、大きな病院の中では理想通りに行きませんでした。また、いくつも診療科があるので、乳がんの検査を毎日ではできず、診断結果が出るまで一カ月近くお待たせすることもありま

検診、診断、手術、術後治療まで、一貫した乳がん医療を提供



大阪プレストクリニック
●●科
しば 英一 医師
1951年生まれ

1977年大阪大学卒業 大阪大学医学部附属バイオメディカル教育研究センター腫瘍外科准教授、大阪厚生年金病院乳腺内分泌外科勤務な

どを経て、2005年開業

メリット

自分のスタイルでの診療が可能

大病院のような組織のしがらみがないので、自分の思うようなスタイルで診療をすることができる。一生懸命働けば、ある程度の収入が得られるし、定年が無いので自分が納得するまで働くことができる。図書購入や学会への参加など、自分の裁量で自由に経費を使うこともできる。

デメリット

経営者としての気苦労が多い

診療や研究のことばかりでなく、従業員や経営のことも常に考えなければならぬ。大病院のように代わりになってくれる人がいるわけではないので、休みが取りにくく、学会にも参加しにくい。給与が保証されているわけではないので、万が一自分が病気になってもカバーしてくれる人がいない。

日本で初めての女性の肛門科の専門医として、テレビやラジオでも活躍



マリーゴールドクリニック
●●科
やまぐち 山トキコ 医師
1961年生まれ

1988年東京女子医科大学大学院を修了後、社会保険中央総合病院・大腸肛門病センターに勤務。2002年東京赤坂に開業。痔や便秘に関する著書多数。

メリット

実践したい医療が迅速にできる

勤務医は組織の一員として仕事をしなければならぬため、思うことの100%がいつもできるわけではない。だが、開業医は自分の考える、実践したい医療のすべてが迅速にできる。すべての責任は自分が負うことになるが、その分、やりがいは大きい。収入も勤務医時代の2倍になった。

デメリット

医療以外の仕事が多い

個人経営のクリニックでは、医療以外の仕事の負担も大きい。スタッフ(とくに看護師)確保のために募集広告を出したり面接を行ったりと、医療以外のことにエネルギーを使わざるを得ないことが多い。技術習得のためにも勤務医時代は大切にすべき。開業医時代より学会活動をたくさんできたはずと後悔している。

した。これが開業を決意した理由です」

開業した今では、すべての検査を一日で終わらせることができ、その日のうちに診断

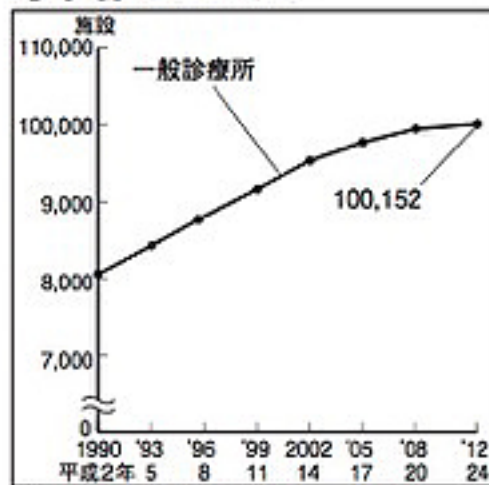
結果を患者に伝えることができると言えるようになった。また、主に乳がんの診療に特化しているので、温かなチーム医療もやりやすくなっている。こう

した、患者サイドに立った医療を提供できていくことが、多くの人に支持される理由と言えるだろう。

一行アンダー

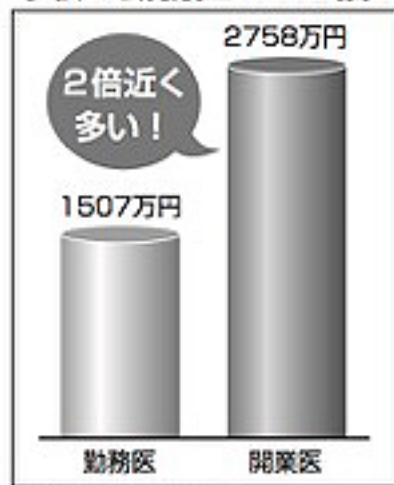
開業医の基礎知識

毎年増えている！



出典 ●●●●●●●●●●

年収は勤務医の1.8倍！



出典 ●●●●●●●●●●

患者さんがほっとする
人柄も不可欠な要素

山口医師も、開業した理由の一つに「大病院ではできな

い医療の提供」を挙げる。「大病院に勤めていた頃、「女性の外科医がいるなら診てほしい」と受診される女性の痔の患者さんがいました。

しかし、大病院はがんなど生死に関わる病気が優先で、痔の患者さんのために簡単にベッドを空けてはくれません。それで、肛門科での開業をめぐすことにしたのです。

三、患者がほっとする人柄や雰囲気があること。そのために、医学部生や勤務医の時代に何をやる必要があるだろうか。山口医師は、「開業医になるための特別な勉強は必要ない」が、まずは「実力をつけること」と話す。

また、医師として成長することも大切な。芝医師が言う。「医師の相手は患者さん、人間です。学生時代にはいろんな事をして、本を読んだり、スポーツをしたりして人間力を高めて下さい。勤務医を続けるにせよ、開業医になるにせよ、患者さん、つまり人から学ぶ姿勢が大切です」

痔や便秘に悩む女性は多いのに、肛門科の女性医師は少ない。こうしたニーズに応えることが、患者に支持される理由の一つだろう。だが、もう一つ大切なことがあると山口医師は言う。「人柄」だ。「クリニクに来たくて来る人はいません。医師が気さくな人柄だと患者さんはほっとすると思います。特に当院は痔や便秘に悩む女性患者が多いので、話しやすい雰囲気づくりに気を配っています」

宮崎医師は技術や経験はもちろんのこと、開業医である前に、医師の仕事が好きかどうかが大切と力説する。「わたしの場合は鼠径ヘルニアの日帰り手術ができるスペシャリストになりました。それを実現するために、結果として開業医になったのです。患者さんを救いたいという崇高な精神ももちろん必要ですが、医師の仕事が好きだと思えそうなら、ぜひめざしてほ

しいと思います」
患者が求める医療の提供が成功への近道

開業医をめざす前に 実力をつけること

宮崎医師を含む三人の話を、開業医として成功するための条件をまとめると、次のようになるだろう。

一、患者が納得する確かな技術を持つこと。
二、大病院ではできない理

想の医療を提供していること。
三、患者がほっとする人柄や雰囲気があること。そのために、医学部生や勤務医の時代に何をやる必要があるだろうか。山口医師は、「開業医になるための特別な勉強は必要ない」が、まずは「実力をつけること」と話す。

また、医師として成長することも大切な。芝医師が言う。「医師の相手は患者さん、人間です。学生時代にはいろんな事をして、本を読んだり、スポーツをしたりして人間力を高めて下さい。勤務医を続けるにせよ、開業医になるにせよ、患者さん、つまり人から学ぶ姿勢が大切です」